

教育心理研究部門

## 「人生における“やる気”のデザイン」(仮) 研究部会 (第1回)

日時：2020年5月18日(月) 13:00~16:00

場所：オンライン会議 (ZOOMにより開催)

出席：渡辺 弥生 (法政大学教授)

榎本 淳子 (東洋大学教授)

倉住 友恵 (駒沢女子大学講師)

杉本 希映 (目白大学准教授)

中井 大介 (愛知教育大学准教授)

中谷 素之 (名古屋大学教授) (以上、野間教育研究所 兼任研究員)

吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香・鈴木益弘 (以上、野間教育研究所)

内容：(1) 研究会の方向性を探るべく、各兼任研究員が興味・研究関心のあるテーマを提示

1. 杉本研究員：興味のあるテーマは「グリット」。「グリット」が育つための要因を探り、  
未だ無い“子ども版のグリット”を作成してみたい
2. 倉住研究員：大学生の将来や人生への“ワクワク”はどのようにして形成されるか  
→未来展望への注目。
3. 榎本研究員：日本の成人先天性心疾患患者は、他国と比較してなぜ生活に満足して  
いないのか？ →多様性を受容できない社会ゆえ？ 自分らしく生きる  
にはどうすればいいのか
4. 中井研究員：心理的資本(職場環境において、人がこうありたいと思う目標に向けて、  
自律的かつ前向きに向かおうとする信念)の概念を「学校」に援用でき  
ないか。教師による欲求支援・阻害行動について
5. 中谷研究員：学校特有の資源とは何か？ →友人関係、教室環境、学業的援助要請の授  
受が持つ意義  
・子どもが主体的に学ぶ—学習の“自律”—を支援する指導のあり方
6. 渡辺研究員：「ルーラー」プログラムの紹介。  
・理論を“見える化”するにはどうすればよいか？

(2) 次回以降、各氏の提案を基に、引き続き研究会の方向性を探っていく。

・次回研究会は 2020年6月15日(月) 13:00~15:00 予定